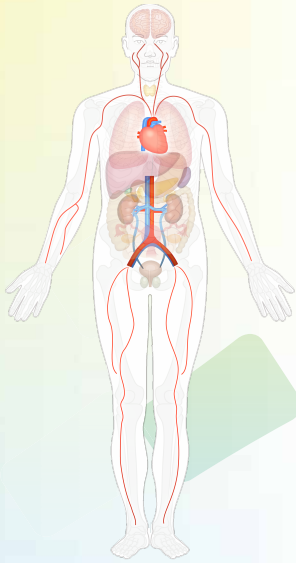




循環器疾患



検査項目		目的	循環器疾患	
※検査項目をクリックいただくと詳しい情報を閲覧できます。		対象		
生化学 I 総項目数	実施料	主な臨床的意義	10	5
	判断料		109	93
	●合算		144	144
			253	237
1	γ-GT	胆道閉塞・アルコール肝炎・脂肪肝		
2	AMY	膵臓・唾液腺・腎臓		
3	ALP	胆道・骨		
4	AST	肝臓・心臓	●	
5	ALT	肝臓	●	
6	CK	心筋・骨格筋・甲状腺	●	●
7	LD	心臓・肺・骨格筋・溶血	●	
8	コリンエステラーゼ	肝硬変・脂肪肝・農薬中毒・麻酔・栄養		
9	総ビリルビン	肝炎・胆道閉塞・溶血		
10	直接ビリルビン	肝炎・胆道閉塞		
11	クレアチニン	腎臓・筋肉量	●	●
12	尿素窒素	腎臓・組織蛋白異化		
13	総蛋白	栄養	●	
14	アルブミン	栄養・炎症		
	A/G 比 (計算項目)	一般状態		
15	尿酸	痛風・腎臓・肥満		
16	ブドウ糖	糖尿病	●	
17	中性脂肪	動脈硬化	●	●
18	総コレステロール	動脈硬化	●	●
19	LDL コレステロール	悪玉コレステロール・動脈硬化		
20	HDL コレステロール	善玉コレステロール・動脈硬化	●	●
21	HbA1c	糖尿病		
22	CRP	炎症	●	

・ HbA1c は血液形態・機能的検査項目で、実施料は 49 点、判断料は 125 点、CRP は、免疫学的検査で、実施料は 16 点、判断料は 144 点。
 * CRP の適応疾患については、診療報酬支払基金の判断に違いがあるので注意が必要
 ○は、計算項目で保険上算定できない。
 ●は、10 項目を超えることを容認するなら加える。
 ●は、生化学以外の検査項目
 ●は、筆者個人の見解

◆循環器疾患

- ・ 急性心筋梗塞に伴う心筋からの逸脱では CK、AST と LD が評価される。
- ・ その際に、AST と ALT を比較することで診断感度が高まる。(AST>ALT)
- ・ 危険因子としての糖尿病のスクリーニングにはブドウ糖、脂質異常症には中性脂肪、LDL コレステロールと HDL コレステロールを測定。総コレステロールを測定し Friedewald (総コレステロールー HDL コレステロールー 中性脂肪 / 5) の式で LDL コレステロールを算出する場合、中性脂肪が 400mg/dL を超える際には non-HDL コレステロール値を用いる。
- ・ CRP は心筋壊死に反応する炎症マーカーであり、高感度 CRP (低濃度域での変動) は動脈硬化の評価マーカーでもある。